

[海上保安庁情報誌] Japan Coast Guard Journal

かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

vol. **85** | 2021 SPRING



[特集]

海上保安庁潜水業務
運用開始50周年

海上保安大学校 潜水研修に密着

海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

かいほ ジャーナル

C O N T E N T S



vol. **85**
2021 SPRING

PHOTO GRAVURE

- 01 海上保安体制強化に関する関係閣僚会議
- 01 令和3年は海図150周年!!
- 02 海上保安学校門司分校 海上保安官を目指し新たな挑戦
- 02 海水観測 ～真冬の使者は南進中～
- 03 年末年始特別警戒及び安全指導 ～STU48石田さんとスペシャルコラボ～
- 03 HP・SNS活用
海上保安庁ホームページ改修
海上保安庁音楽隊WEBコンサート

[特集]

- 04 **海上保安庁潜水業務運用開始50周年
海上保安大学校潜水研修に密着**

TOPIC

- 10 2021年も海上保安庁118番イメージモデルに
篠田麻里子さんが就任!!

- 12 **NEWS  FLASH**

裏表紙

INFORMATION

海上保安大学校・海上保安学校採用試験



海上保安体制強化に 関する関係閣僚会議



関係閣僚会議の様子



発言する菅総理大臣



巡視船「あかつき」



測量船「光洋」

平成28年以来、「海上保安体制強化に関する関係閣僚会議」が毎年開催されており、令和2年12月21日に5回目となる会議が開催されました。会議では、平成28年に決定された「海上保安体制強化に関する方針」に基づき、海上保安庁の体制強化を引き続き進めていく

ことが確認されました。

令和2年度中には、同方針に基づき整備を進めてきたヘリコプター搭載型巡視船「あかつき」、大型測量船「光洋」が就役します。



令和3年は 海図150周年!!



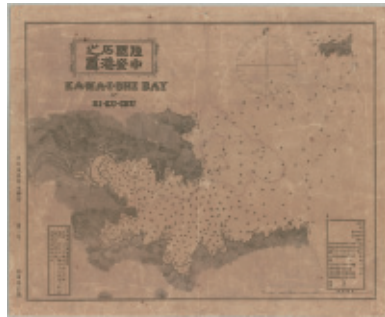
令和3年限定!
海図150周年記念ロゴマーク



新しい海図印章



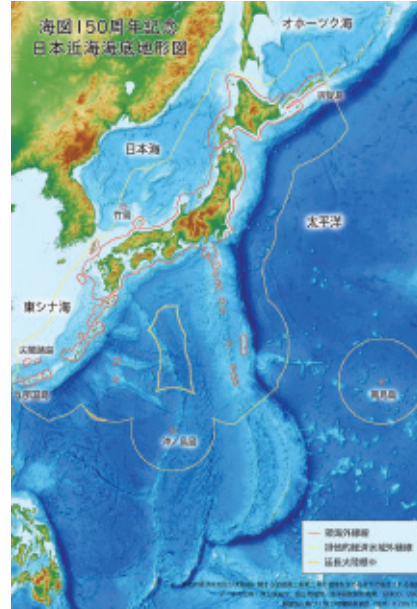
うみまる・うみみん



海図第1号「陸中國釜石港之圖」



日本郵便 特殊切手「海図150年」



海図150周年記念
日本近海海底地形図(ポストカード版)

明治4年(1871年)、我が国沿岸の航海安全を守るため、海洋調査から海図作製までを一貫して行う水路業務を任務とするため、「兵部省海軍部水路局」が設立されてから、令和3年で150周年を迎えました。

翌明治5年(1872年)、我が国における海図の第1号となる「陸中國釜石港之圖」を刊行しました。

この記念する年にあたり、令和3年限定の海図150周年記念ロゴマークを作成しました。また、海図などの水

路図誌に我が国が作製したものであることを示す印章も変更しました。

このほか、記念の日本近海海底地形図を作製するなど各種事業を計画しています。また、日本郵便株式会社より特殊切手「海図150年」が発行されます。

是非この機会に海洋情報業務により一層の関心を向けていただければと思います。



海上保安学校門司分校 海上保安官を目指し新たな挑戦



梶原分校長式辞



式典の様子



総代森杉研修生

令和3年1月19日、北九州市の海上保安学校門司分校において、研修科船艇職員等初任者課程第84期31名の入校式が挙行されました。

海上保安学校門司分校は、幅広い年齢層で船舶や航空機、無線通信の有資格者を受入れ、海上保安官として必要な知識、技能等を研修する海上保安庁の教育機関です。今回の入校生は、20歳から55歳という幅広い年齢層に加え、一般企業経験者や退役自衛官など様々な職種経験者が集いました。

徹底した新型コロナウイルス感染症対策を講じ教職員と入校生のみで挙行された入校式において、梶原分校長

から「海上保安官としての知識・技能を身に付け、31名全員が揃って、6カ月後に胸を張って現場第一線に旅立っていくことを切に希望しています。」と式辞があり、長官訓示(梶原分校長代読)では「正義仁愛の精神をしっかりと養い、様々な試練を乗り越え、そして国民の皆様からの大きな期待に応える事ができるよう、高い志と人格を育て下さい。」との激励がありました。

研修生を代表して森杉研修生が「^{けんさん}学術技能の研鑽と人格の陶冶及び体力の錬磨に専心します。」と力強く宣誓しました。これから、「海上保安官」を目指し、第84期31名の新たな挑戦が始まります。



海水観測 真冬の使者は南進中



海水速報のための海水状況のスケッチ



千歳基地航空機による観測 能取岬沖



海水情報センター開所



紋別海上保安部 巡視船そらち流氷観測



釧路基地航空機による観測

★★★★ おまけ ★★★★★

稚内海上保安部巡視艇「きたかぜ」乗組員は、稚内港内に浮かぶ氷の上でくつろぐアザラシの貴重な写真を撮影。



第一管区海上保安本部では、海水海難防止のために今冬も令和2年12月21日(月)に海水情報センターを開所しました。

令和3年1月9日(土)には釧路航空基地の航空機により、今季初のオホーツク海を南下する流氷の様子を確認し、その後は航空機による海水観測を毎週実施しています。

また紋別海上保安部の巡視船「そらち」や稚内海上保安部の巡視船「もとうら」がオホーツク海をしょう戒中に流氷を確認しており、北海道への接近が実感されています。

海水情報センターでは真冬の使者の情報を毎日提供しています。



年末年始特別警戒及び安全指導 STU48石田さんと スペシャルコラボ



1日日本部長石田さん挨拶



任命書交付(左から中国運輸局長、STU矢野さん、STU石田さん、六本部長)



STU矢野さん、STU石田さんサイン



救命胴衣着用点検



船橋の船内マイクにより乗客への安全指導
(STU石田さん)

第六管区海上保安本部と広島海上保安部では、12月10日～1月10日までの「年末年始特別警戒及び安全指導」期間の初日に、STU48メンバーの石田千穂さんを1日第六管区海上保安本部長に任命し、中国運輸局等と連携して年末年始に繁忙多客期を迎える宮島航路の旅客船を対象に船内点検及び安全指導を実施しました。

船内点検及び安全指導では、STU48メンバーから旅客船の乗船者に対し、船内マイクを利用して安全指導や新型コロナウイルス感染症対策、118番の有効活用について呼びかけていただきました。
(STU48メンバー矢野帆夏さんは1日中国運輸局長に任命)



第1弾
行進曲
「コーストガード」



第2弾
行進曲
「錨を上げて」



第3弾
「炎」



第4弾
「会いたかった」



英語版ホームページをリニューアル

海上保安庁ホームページをスマートフォン対応化

令和3年3月中を目処に海上保安庁ホームページのスマートフォン対応化(一部)のため改修を行うほか、英語版ホームページのリニューアルを行います。海上保安庁では、引き続き国民の皆様への情報発信の強化に努めてまいります!

また、令和2年度、新型コロナの影響ですべての演奏会が中止となった海上保安庁音楽隊がYouTubeで演奏動画を配信しています。

WEBコンサート第4弾では、海上保安庁118番イメージモデルの篠田麻里子さんとコラボレーションしました。海上保安庁YouTubeチャンネルでお楽しみください!



HP・SNS活用 海上保安庁ホームページ改修 海上保安庁音楽隊WEBコンサート



海上保安庁潜水業務運用開始50周年 保安大学校潜水研修に密着

昭和23年5月に発足した海上保安庁は、船の転覆や沈没といった海難における人命の救助などに迅速に対応するため、昭和45年6月から潜水業務の本格的な運用を開始。令和2年6月で、本格運用の開始から50周年の節目を迎えた。

取材・文／安井直美(エディターズ) 写真／西田英俊、鶴川みゆき

潜水業務本格運用までの道のり

海上保安庁職員が東京水産大学(現国立大学法人東京海洋大学)において、潜水器具の取扱い方法や訓練方法を初めて受講し、体験したのは昭和30年3月。翌昭和31年4月には、小樽、神戸、広島、門司の4基地に自給気式潜水器具(スクーバ式潜水器具)を整備した。昭和43年9月には、潜水員6名が広島県江田島市にある海上自衛隊第一術科学校で6週間の研修を受け、潜水士免許を取得。昭和45年6月には全管区の潜水指定巡視船12隻に4名の潜水員で構成するチームを配置し、潜水業務の本格運用を開始した。同年9月には、広島県呉市にある海上保安大学校において潜水研修を開講。この研修は年2回開催し、1回の研修期間は10日間。2回の研修で合計40名が受講した。

昭和49年11月9日、東京湾において第10雄洋丸とパシフィックアリス号の衝突海難が発生する。この事案を契機とし、昭和50年9月、特殊救難隊が発足した。

その後、特殊救難隊の組織改編や新たな潜水制度の検討などを経て、平成14年10月には沿岸海域からの迅速な救助を行う機動救難士を福岡航空基地(現在は北九州航空基地)に4名配置。以後、函館や仙台、関空など各航空基地に機動救難士の配置が進んだ。

現在の体制は救難強化巡視船11隻、潜水指定船11隻、特殊救難隊6隊、機動救難士9基地。潜水士は239名おり、海上保安庁職員約1万4000人の約2%にあたる。



潜水訓練用プール棟の1階には、これまでに潜水研修を受けた研修生の集合写真が飾られている。海上保安大学校で昭和45年に始まった潜水研修は、令和2年度の研修で第98回を迎えた。

潜水士の根幹はここあり

潜水士になるには、海上保安大学校で開講する潜水研修を修了する必要がある。しかし、この研修は誰にでも門戸が開かれているわけではない。海上保安大学校、または海上保安学校を卒業後、巡視船艇で勤務し、一定の現場経験を積んだ海上保安官から選抜されるのである。各管区から、研修実施年度の4月1日現在で30歳以下の者を対象に、身体検査等の選考を経て年2回選抜される。その際、一呼

吸で約23mの水平素潜りができること、加えて、約3000mの水泳ができることが選考の基準となる。

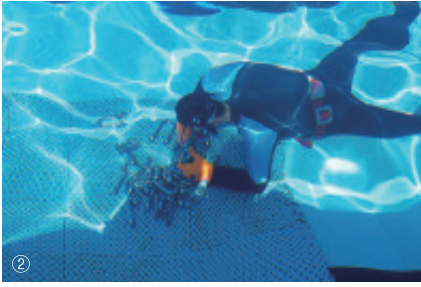
1回の研修に選抜される潜水研修生は18名。研修は一年間に2回開講されるため、年間36名の潜水士が誕生する(令和2年度は第1回の研修がコロナ禍で中止。第2回は24名が受講した)。研修期間は約2か月で、そのうちプール実習を1か月、慣海・海洋実習を1か月行う。潜水学や潜水医学などを学ぶ座学、消防士による普救救命講習などもある。



研修期間中、研修生は海上保安大学校の敷地内にある研修センターで寝食を共にする。各管区から選抜された研修生たちの年齢層は幅広い。だが、「潜水士」という同じ目標に向かって日々の厳しい訓練に取り組み、寝食を共にした研修生たちには、仲間としての強い絆が生まれる。



昭和45年9月に海上保安大学校において開講した、潜水研修第1期生の集合写真。研修期間は10日間。



①25mプールを20往復、計1000m泳ぐドルフィン。プールの外にいる研修生たちの応援にも熱が入る。②プール底で行うシャッフル結合。素潜りで行うため、冷静に手際よく作業する必要がある。③プール研修の最終日には検定を行い、これまでの訓練で習得した技術の確認を行う。④令和2年度潜水研修の研修生たち。互いの考えを否定せず、認め合い、全員で意見を出し合うチームだという。

潜水研修では、はじめに1か月かけてプール実習を行い、そのあと実際に海に出て実習を行う。プールで行う18回の実習では呼吸停止や水平素潜り、立泳ぎ、鍾運搬、バディブリージングなど、さまざまな訓練を実施。いずれの訓練でも段階的に目標数値を設定し、訓練を反復することで最終的な目標数値の達成を目指す。最終的な目標数値としては、呼吸停止は2分30秒、水平素潜りは50m、立泳ぎでは両手に5kgの錘を持ち、15分間フィンのみを使っての立泳ぎを目標とする。ほかに

10kgの錘を腹部に乗せての運搬訓練や、夜間に行う転覆船内進入訓練など、さまざまな実習がある。
実習に使うプールは14m×25mの大きさで、片側の水深は1・2m、対岸に向かうにつれ、2m、3m、5mと3段階の水深に分かれている。実習を指導するのは潜水士の経験を積んだ教官で、なかには特殊救難隊の経験を持つベテラン教官もいる。
慣海実習では約1200mのドルフィン2周、及び素潜り3回を午前と夜間にそれぞれ実施。ほかに、水中カメラなど機材の取扱い訓練や搜索法の訓練などを行う。海洋実習では巡視船の船尾に潜降索

厳しい訓練を経て潜水士へ

INTERVIEW



海上保安大学校
訓練部訓練課 教官
高 山 壮 太
タカヤマ ツトム

広い視野を持ち、考え、行動する能力の向上を目指して

潜 水研修では、「考えさせる」という点に重点を置いて指導しています。例えば実習がうまくいかなかった場合、すぐに解決策を教えるのではなく、うまくいようにするにはどうしたらよいか、彼らなりの解決策を考えてもらうといった具合です。メリットを考えて選択したつもりの手法でも、デメリットがつきものです。そのデメリットが露呈して実習がうまくいかなかったこともあります。研修生にはそういった経験もたくさんしてもらい、自分で考える力を身につけてもらいたい。どのようなシチュエーションでもメリット、デメリットを冷静に判断し、臨機応変に対応できる潜水士になってほしいと思います。
潜水士は一つのことにと没頭せず、一度に3つの作業ができるくらい、周りを見る力が必要とされます。一つの作業に没頭すると周りの環境変化に気づかず、気づいたときには転覆船に閉じ込められていたということにもなりかねません。今年の研修生は体力的に優れている者が多く、個々の能力は高いと思います。潜水研修では、不測の事態も考慮したうえで、常に広い視野を持って冷静に行動する力を身につけてほしいと思います。



研修生長
巡視船くろせ 主任機関士
間賀田 祥岳
マガタ ヨシタケ

入 庁のきっかけは幼少時よりヒーローに憧れ、また、海上保安庁職員になりたかった父から紹介されたことです。将来は特殊救難隊の一員としてミッションをこなしたいと思い、この研修を希望しました。実際に研修に参加し、人の声がほぼ聞こえない水中では、事前の準備がどれだけ大切かということを感じています。研修生長として、チームの皆が自分の意見をきちんと発言できる環境づくりを意識し、皆がついてきてくれるような潜水士を目指しています。

潜水業務は一人ではできない
仲間を信じて二つになる



研修生
巡視艇はやなみ 航海士補
伊藤 慎太郎
イトウ シンタロウ

祖 父母の家が宮城県石巻市にあり、中学3年生で東日本大震災を経験。祖父が海上保安庁職員に救助されたことをきっかけに入庁を希望しました。潜水研修は想像以上に厳しく、求められる技術は高度なものばかりです。2つ以上の作業を同時にしながら、自身の安全を担保しなければなりません。この難しさを非常に感じています。研修生総員で挑む海洋実習では互いに声を掛け合い、誰かが失敗すれば手を差し伸べ、一致団結して必ず乗り越えます。

冷静に判断し行動するために
自分に自信を持つ



研修生
巡視船てじま 航海士補
熨斗 大輝
ノシ ダイキ

四 年制大学を卒業後、海上保安学校の卒業を経て入庁し、現在28歳。研修生の中では最年長です。得意の水泳をいかせる潜水士を志しましたが、体力的にもう少し若いうちに受講できていればと思いました。疲れが残らないよう食事をしっかりと、早く寝るなど日々の体調管理も研修では必要です。また、この研修で学んだのはチームワーク。研修のあらゆる場面で年齢差など関係なく皆が声を掛け合い、意見を出し合い、久々に熱い経験をしています。

冷静に物事を判断し、
対処できる潜水士を目指す

を設定し、それに沿って水深20mまで段階的に素潜りを行うほか、船首または舷側からスクーバ式潜水器具を装着しての飛び込みなどをマスターする。水深10m前後で、環状捜索法・ジャックステイ捜索法を用いた海底捜索もある。

すべての実習においてバディを組み、ひとつひとつの動作の前後に、教官やバディに向かって大きな声で簡潔に報告をする。危険と隣り合わせの潜水士には、こうした細かな報告の習慣づけも必要不可欠である。

仲間との絆はかけがえのない宝

研修期間中、研修生は研修センターで共同生活をする。研修センターは彼らにとって憩いの場だ。食事は平日のみ別棟の寮内にある食堂を利用できるが、食堂が利用できない土・日曜は数人の仲間と一緒に食事をすることもあるという。訓練が終わった後も、研修センターでの検討会を日課にしている彼らだが、仲間同士で食事をしたり、情報を交換したりする束の間の時間は、厳しい訓練と一緒に乗り越えた同志だからこそ分かち合える貴重なリフレッシュタイムになるだろう。



⑤ポンツーン(棧橋)から飛び込みを行い、安全に水面に飛び込む方法を会得する。
⑥海洋実習ではドルフィンや垂直素潜り、自由潜水などを行う。研修生2人に対し2人の教官が指導にあたる。⑦研修センターの自室でくつろぐ研修生たち。ここでの共同生活を通してさらに絆が強まる。

潜水業務運用開始50周年 合同潜水訓練を 開催

2020年は、潜水業務の本格的運用を開始してから50周年の節目の年。日々の訓練で培われた潜水技術を発揮する場として、12月16日、横浜海上防災基地において、合同潜水訓練を実施。各管区を代表する潜水士20名が全国から集結し、技術を競いました。

撮影／魚住貴弘



空気が必要になった場合は、いったんボンベまで戻ります。正しく結索されているかは、警戒員(特殊救難隊)がチェック。

《ルール》制限時間の10分以内に、水深2.5mにある潜水ボンベから1呼吸以上したあと、約7m離れた結索用バーに5種目の結索をします。全種目終了までの所要時間と精度が得点に換算されます。

訓練 2

エアーステーション結索

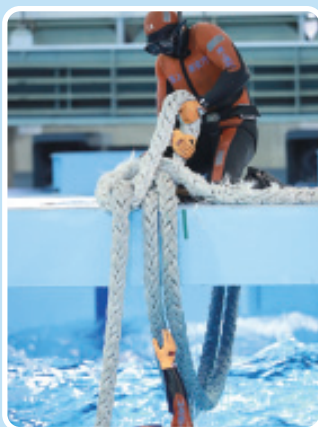


手で水をかいたり、潜水をしたりするのは禁止です。

《ルール》マスク、シュノーケル、フィン、ウエイトを装着して、50mをドルフィンキックで泳ぎます。所要時間が得点に換算されます。

訓練 1

空身によるドルフィン



結索は、「巻結び」で正しく行わなければなりません。

警戒員が、正しく結索をされているか、厳しくチェックします。



一方が水中で、一方が作業台車で作業をし、コミュニケーションをとりながら結索をしています。

《ルール》波を起こしたプールで行う、2名1組の訓練。15m先にある作業台車に対し、直径70mmのホーサーを使って結索をします。結索終了までの所要時間と精度が得点に換算されます。



バディとの作戦が成否のカギを握ります。



ホーサーを引っ張りながら泳ぎ、作業台車まで運びます。

訓練 3

バディ連携による 荒天下水面ホーサー結索

訓練 4

曳航支点作成及び曳航索結着



この訓練のみ、水深の深い別のプールで行われます。

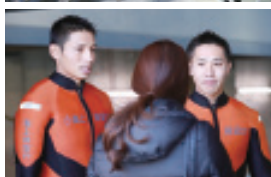
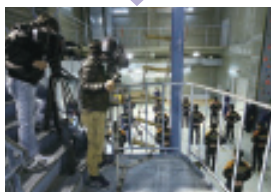
パディとの日ごろのコミュニケーションあってこそ、円滑な作業が可能になります。

曳航支点が外れないように結ばれているかなど、警戒員がチェックします。

《ルール》 水深10mの円筒形プールで行う、2名1組の訓練。制限時間の10分以内に、水深7m付近に設置した模擬ボラードに対して、シャックルと直径30mmホーサー(10m)を使って曳航支点を作成し、直径30mmホーサー(20m)の片端末にもやい結びをしてシャックルと結合します。所要時間と精度が得点に換算されます。

新聞・テレビも取材に訪れました

各管区から潜水士が一堂に会する合同潜水訓練は初の開催ということもあり、新聞、テレビ各社が会場を訪れ、レポートやインタビューを行いました。



最終種目ということで疲労もあり、泳力の差がでる結果になりました。



最後の力を振りしぼるパディに声援を送ります。



潜水ポンペを背負った全装備の状態でのぞみます。

《ルール》 マスク、シュノーケル、フィン、ウエイト、潜水ポンペを装着し、200mずつ、計400mのドルフィンリレーを行います。所要時間が得点に換算されます。

訓練 5

全装備ドルフィンリレー

閉会式



上松 航大 巡視船やひこ 航海士補/潜水士
潜水業務50周年合同訓練で3位入賞できたのは、パディを始め、巡視船やひこ乗員や保安部職員の方々のご支援ご協力があったからです。海難対応であれ、訓練であれ支援が無ければ潜水士だけでは行うことができないことを改めて感じることができた合同訓練でした。これからも支援に対する感謝を忘れずに、日々の訓練、業務に全力で臨み、目標である特殊救難隊を目指してより一層、精進してまいります。

木下 光 巡視船やひこ 航海士補/潜水士
今回入賞できたのは、岡村潜水班長をはじめとする先輩潜水士の方々のアドバイスと、船長をはじめとする巡視船やひこ乗組員及び保安部職員の方々の御配慮と御支援により、得られたものです。優勝を目指し、訓練を重ねて臨んでいたため、3位という結果に正直満足していませんが、入賞という形で御支援してくださった方々に恩返しできたことは、嬉しく思います。私は、潜水士として経験を積んだ後、特殊救難隊を希望しています。要救助者は救助者を選べないので、常にベストパフォーマンスができるよう、今後も訓練を重ね、救助技術の研鑽をしていきます。



明瀬 哲也 巡視船いず 首席機関士/潜水士
本庁警備救難部救難課を始め「潜水業務50周年合同潜水訓練」を企画していただいた方々に感謝いたします。全管区の潜水士が一堂に会し競い合うことで、これ以上なく良い刺激を受け、意欲が掻き立てられ、潜水魂が熱く燃えました。そして、各管区の潜水士の実力を目の当たりにし、まだまだ自身の体力及び技術を磨いていかねばと改めて痛感しました。今後は、巡視船いず潜水班長としてだけでなく、全管区の潜水士の最高峰に立ち、見本となるべき背中を見せていけるよう精進し、一人でも多くの要救助者とその家族の心を救いたいと思います。

石塚 冨希 巡視船いず 航海士補/潜水士
三管区の代表として優勝を目指していた中で2位という結果は大変悔しいものですが、全管区の潜水士が日々の訓練で培った救難技術を互いに発揮できる場を設けていただき、自分自身も大きな刺激を受け、貴重な経験をさせていただきました。将来は特殊救難隊員として、そして救急救命士の一人として1人でも多くの人命救助に携わりたいことを目標としていることから、今回の経験を糧に日々の自己研鑽に努めていきます。



上江洲 健太 巡視船くろせ 機関士補/潜水士
潜水業務50周年という節目の年に開催された本訓練で優勝できたことは、今まで経験してきた事案が活かされるとともに、日頃の訓練の成果であり、とても嬉しく思います。パディ作業では、お互いが熱くなりすぎて焦ってしまい、作業が遅くなる場面がありました。こうした事は、実際の海難現場でも起こり得る事だと思うため、「心は熱く、頭は冷静に」を今後の教訓として、海難現場では安全確実に迅速な対応に努めたいと思います。今後はより高度な人命救助を行うため、特殊救難隊の入隊を目指します。

前田 雄士 巡視船くろせ 航海士補/潜水士
本訓練では、荒天下での救助訓練等を再現できる環境であり、これまで経験したことのない想定での訓練でしたが、パディと協力し優勝することができたことは、日々の訓練が活かされていると実感でき、大変嬉しく思います。また、本訓練を通して潜水士の原点である人命を救助することに対する熱い気持ちを再確認することができました。今後は、救急救命士、そして特殊救難隊を目指し、高いレベルで救難活動ができるよう、引き続き、日々の業務や訓練に進進していきたいと思っております。



閉会式では、成績上位3組に賞状が贈られました。



初の試みが成功に終わり、全員で記念撮影。

2021年も海上保安庁118番イメージモデルに 篠田麻里子さんが就任!!

撮影風景レポート



打ち合わせ

ポーズや表情などを、カメラマンと打ち合わせ。正しい帽子のかぶり方や敬礼の仕方も、綿密にチェックします。

動画も撮ってます!!



撮影風景は、スチール作成のほかに、動画カメラでも撮影。

撮影メイキングPVは、YouTube

で見ることができます。



▲ リーフレット

しのだ・まりこ

1986年生まれ、福岡県出身。2006年から2013年までAKB48の中心メンバーとして活躍。現在は女優・タレントとしてテレビやYouTubeなどで活動中。2019年2月に結婚、2020年3月に第一子を出産し母親となった。

ポスター&リーフレット完成!



▲ ポスター

篠田麻里子さんが続投 ポスター撮影会場を訪問

海上保安庁では、海難や悪質・巧妙化する密輸・密航等の事犯に迅速かつ的確に対応するため、平成12年から、海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」を導入しています。

2019年から海上保安庁118番モデルに篠田麻里子さんを起用し、周知活動を行っていましたが、2021年も続投していただくことになりました。

今回は、11月に都内スタジオで行われた、ポスター、リーフレット撮影の1コマを、ご紹介します。当日は、撮影スタッフ、関係者も含め、笑いの絶えない、和気あいあいとした雰囲気の中、撮影が進められました。

撮影：魚住貴弘



3

撮影した写真は、パソコンのモニターでご自身でも確認。

CHECK!



2

撮影

いざ、撮影です。カメラマンの指示に応じて的確にポージング。絶妙に笑顔のパターンを変化させ、順調に進みます。



5

今回は、ポスター用とリーフレット用に、数パターンポーズで撮影をしました。

CHECK!

4



お父様から、敬礼の指導もありました。



6

完成!!

撮影は無事終了。記念撮影にも、こころよく応じていただきました。

THANK YOU!

★★★★撮影アイテム★★★★



118番イメージモデル
JCO 篠田麻里子

「118番イメージモデル 篠田麻里子」と刻んだ
ネームプレートもご用意。



[NET118]

聴覚や発話に障害を持つ方を対象に、「NET118」の運用を行っています。

本サービスは「事前登録制」のサービスです。

こちらのコードを読み取るもしくは、entry@net118.jpを直接あて先に入力して空メールを送信、登録用メールが返ってくるので、案内される手順に従い登録してください。

2020年
12月



学校 寒さに負けず早朝訓練実施!

12/5

**五管区
相談室** 祈願!疫病退散・海上安全
「うみがめマリンの大冒険」作者が絵馬製作



12/9

**九管区
新潟基地** 中学校で若手パイロットによる職業講話を実施



12/13・14

**六管区
玉野** 環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」
原画展の実施



12/23

学校
令和2年度
早朝訓練競技会



12/24

**二管区
宮城** 「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」
9年間にわたる作品応募者に対して感謝状を贈呈



12/28

**十管区
本部** 協定に基づく福岡管区气象台への業務協力
(諏訪之瀬島火山観測協力)



2021年
1月

1/13

**七管区
本部** NHK番組出演による
118番周知活動



1/13

**七管区
本部** 非接触!
うみまる君がリーフレット配布



1/13

**八管区
鳥取** FM鳥取出演
~118番周知活動~





1/14

三管区
本部



訓練始めを実施



1/18

二管区
本部

仙台うみの杜水族館における
118番周知活動



1/18

十一管区
本部・那覇

プロバスケットボールチーム
「琉球ゴールデンキングス」と
コラボした118番周知活動

1/28

三管区
本部



特殊救難業務研修修了式
厳しい訓練を経て新たな特殊救難隊員が4名誕生

1/31

二管区
福島



東日本大震災発生から10年
行方不明者手掛かり求め潜水捜索

2月

2/16

三管区
本部



小笠原海上保安署配属の巡視船みかづきの
引渡式を実施

2/17~20

一管区
本部・釧路



ウトロ流水下
潜水訓練を実施

「118番」 ご当地ポスター



二管区 石巻



三管区 千葉



四管区 本部



五管区 本部



五管区 姫路



六管区 本部



九管区 本部



十一管区 本部

海上保安大学校・海上保安学校採用試験

海上保安庁では、当庁の職員の養成機関である海上保安大学校及び海上保安学校の学生を募集しています。

試験の日程については、下記のとおりです。詳しくは、最寄の海上保安部または海上保安庁総務部教育訓練管理官付試験募集係(Tel.03-3580-0936)までお気軽にお問合せください。



《 2021年度 採用試験日 》

海上保安大学校 学生採用試験

- 受付期間 / 2021年8月26日(木)～9月6日(月)
- 第1次試験 / 2021年10月30日(土)10月31日(日)
- ホームページ / <https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/admission/jcga.html/>
- 受験案内(募集要項)配布時期 / 2021年6月16日(水)

海上保安大学校とは？

海上保安庁の幹部職員として、必要となる高度な学術・技能を教授し、併せて心身の練成を図ることを目的として広島県呉市に設置された海上保安庁の教育機関です。

海上保安官採用試験

- 受付期間 / 2021年3月26日(金)～4月7日(水)
- 第1次試験 / 2021年6月6日(日)
- ホームページ / <https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/admission/coast-guard-officer.html/>
- 受験案内(募集要項)配布時期 / 2021年2月1日(月)

海上保安学校 学生採用試験(特別)

- 受付期間 / 2021年3月26日(金)～4月2日(金)
- 第1次試験 / 2021年5月16日(日)
- ホームページ / <https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/admission/jcgs.html/>
- 受験案内(募集要項)配布時期 / 2021年度2月1日(月)
※募集する課程は、船舶運航システム課程のみです。

海上保安学校 学生採用試験

- 受付期間 / 2021年7月20日(火)～7月29日(木)
- 第1次試験 / 2021年9月26日(日)
- ホームページ / <https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/admission/jcgs-special.html/>
- 受験案内(募集要項)配布時期 / 2021年6月16日(水)

海上保安学校とは？

海上保安庁の各分野における専門の職員を養成するために京都府舞鶴市に設置された海上保安庁の教育機関です。採用試験時に以下の5つの課程のいずれかを選択します。
・船舶運航システム課程・航空課程・情報システム課程・管制課程・海洋科学課程

入学すると…

国家公務員としての身分が与えられ、毎月給与や期末手当、勤勉手当が支給されます。また、国土交通省職員として、国土交通省共済組合員としての社会保障を受けることができます。入学金・授業料は一切不要です。また、学生生活に必要な制服や寝具等はすべて貸与されます。

門司分校(有資格者)

海上保安庁では、船舶、航空機や無線通信等の有資格者の方を対象とした、採用試験を実施しています。採用されると福岡県北九州市にある「海上保安学校門司分校」において、約6ヶ月間の研修を行った後、全国の巡視船艇、航空基地等に配属されます。

海上保安庁ホームページでは採用職種(航海、機関、通信、飛行、整備)の紹介のほか、「先輩の声」として、これまで本採用試験を経て、採用された職員の現在の仕事内容や入庁した経緯などを多数掲載しています。

資格を活かし、海上保安官として活躍してみませんか？

試験の日程については、下記のとおりです。詳しくは、海上保安庁総務部人事課(Tel.03-3591-6361)までお気軽にお問合せください。

海上保安官(有資格者) 採用試験

- 受付期間 / 郵送・持参 2021(令和3年)5月下旬から6月下旬頃
- 第1次試験 / 2021(令和3年)7月頃
※詳細な日程、受験資格等については、2021(令和3年)5月下旬頃、ホームページに掲載する予定としております。
- ホームページ / <https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/enter/jcgs-moji.html>



ホームページ掲載「先輩の声」



■ 海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3 Tel. 03-3591-6361

★採用担当ツイッター
https://twitter.com/@JCG_saiyou

★採用担当ライン
https://page.line.me/jcg_kaiho